

国土交通省では、えびの市の要請を受け、沈殿池の堆積物の迅速な除去及び無人化施工の支援に着手しました

- 本日、えびの市から、同市が実施する沈殿池の堆積物の迅速な除去と新たな沈殿池設置のための無人化施工に係る技術支援の要請がありました。
- 要請を受け、同市が既に設置した沈殿池 5 カ所のうち上流 2 カ所の堆積物の迅速な除去を川内川河川事務所が支援することとし、本日着手しました。
- また、同市が立入規制範囲のえびの高原韓国荘跡地に設置する 6 カ所目の沈殿池の掘削作業を川内川河川事務所が無人化施工により支援することとし、本日着手しました。

【川内川河川事務所のこれまでの対応】

1. 関係機関との情報連絡体制の構築

- ・ 4 月 21 日に「川内川水系水質汚濁連絡協議会」の構成団体と情報連絡体制を構築。

2. 河川の水質調査の継続的な実施と公表

- ・ 4 月 26 日に川内川の水質調査を開始し、28 日以降はヒ素等の重金属に関する項目を含め毎日調査を実施。調査結果は、上記水質汚濁連絡協議会に連絡するとともにホームページにて公表(毎日更新)。
※主な調査地点の pH、ヒ素の調査結果の経過を「別紙 1」に添付。

3. 河川巡視の継続的な実施と公表

- ・ 4 月 21 日に河川巡視を開始し、23 日以降は毎日巡視を実施。4 月 26 日に湯之尾堰で魚の斃死を発見し回収。巡視結果はホームページにて公表(毎日更新)。
※主な調査地点の河川状況の経過を「別紙 2」に添付。

4. 洪水時における危機管理の強化

- ・ 川内川等が増水した際、樋門等を通じて河川水が水田等に逆流しないよう樋門等の適切な操作の徹底について、操作を行う自治体に対して 5 月 14 日に周知。

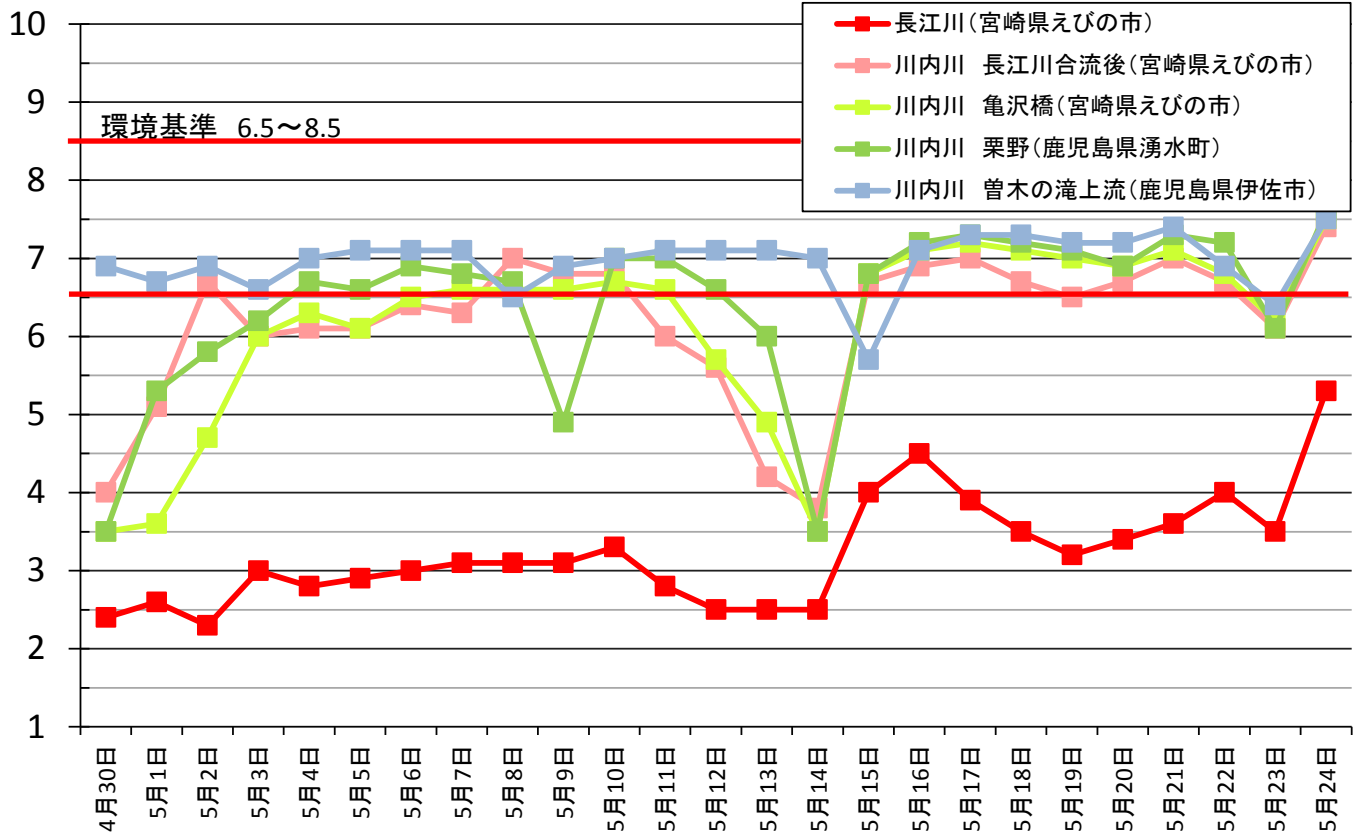
5. 自治体への支援

- ・ 宮崎県の要請を受け、国土技術政策総合研究所や土木研究所の専門家、学識者による現地調査を実施(5 月 7 日、14 日、22 日)。
- ・ えびの市の要請を受け、長江川及び川内川にオイルフェンスを設置(4 月 26 日～27 日)。※魚のへい死が見られなくなったことから、長江川では 5 月 1 日、川内川では 5 月 7 日に撤去
- ・ えびの市の要請を受け、4 月 30 日から 5 月 5 日にかけて同市が溪流に設置するための沈殿池の資材土嚢(袋詰め根固め)300 袋を順次貸与。

川内川水系の河川水質の状況

● pH

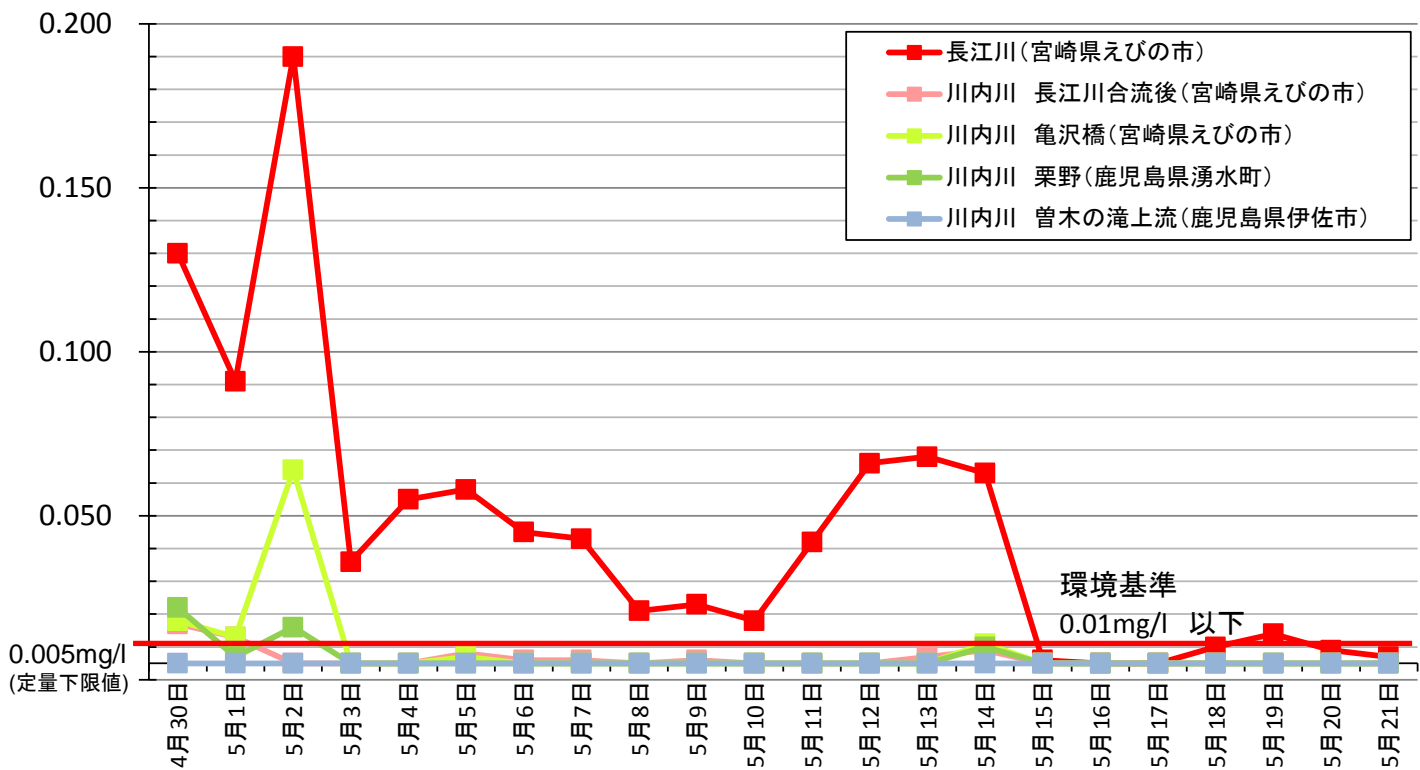
※その他の地点については噴火後、常に環境基準値内



※5月22~24日のプロットは簡易測定機器による参考値

● ヒ素

※その他の地点については噴火後、常に定量下限値以下



※0.005mg/lのプロットには定量下限値未満(0.005mg/l未満)を含む

川内川水系の河川の状況(巡視結果)

4月28日 長江川(長江橋から下流を望む)
【白濁している】



4月28日 川内川(亀沢橋から上流を望む)
【変色は見受けられない】



5月11日 長江川(長江橋から下流を望む)
【若干の白濁が見受けられる】



5月11日 川内川(亀沢橋から上流を望む)
【変色は見受けられない】



5月22日 長江川(長江橋から下流を望む)
【白濁はかなり薄くなっている】



5月22日 川内川(亀沢橋から上流を望む)
【変色は見受けられない】

